

**E**vent  
特別イベント  
信州自遊塾との共催  
「自然エネルギー講座」

2015.3/7  
原発事故から4年「自然エネルギーの今」  
～これからの私たちの生き方～を開催

場所：塩尻総合文化センター講堂  
参加費：500円（高校生以下は無料）



講座には予想を上回る約120人が参加。  
第1部は、「信州自遊塾」塾長の松本猛さんのコーディネートによるパネルディスカッション。パネリストはエネットまつもと代表の平島さん。柳沢林業社長として「山基準」を伝える原薫さん。太陽光パネル「相乗りくん事業」の上田市民エネルギー理事長の藤川まゆみさん。松本安曇地区で小水力やバイオマスの事業展開をする、さとやまエネルギー代表の前田仁さん。活動を通じて感じる事や、さらに自然エネルギーが普及するためのヒントが共有されました。  
第2部は、11のテーブルそれぞれに第1部のパネリストも含めたりーダーがつき、日頃実践していること、アイデアなどをグループディスカッション。参加者は興味のあるテーブルで熱心に質問したり、情報交換を行いました。ここで出会った人たちが新たな繋がりを作りながら新しいアクションにつながる機会になったと思います。



地域にあるものを活かすくらし  
未来の子どもたちから「借りている地球や地域」を、  
良いかたちで返すため、自然豊かなこの地らしいエ  
ネルギーの地産地消をめざしてー。

私たちとっしょに「考え」「学び」そして「行動」しませんか。  
会員募集中です

入会は個人登録制です。現在、約40名あまりの人が活動に参加しています。自然エネルギー関連の事業をされている方もいらっしゃいますが、多くの方は一般の市民の方々です。松本地域をはじめ、伊那、長野、諏訪からも参加されています。

入会の方法 ●年会費 2,000円（入会金はありません）

ホームページの入会申込書（Word）を入手ください。

必要事項を入力（記入）後①電子メールで送付、または②プリントアウトしてFAXにて送付、あわせて指定口座に会費を入金してください。

入会後は、メールで情報をお届けします。各種会議・イベント・学習会へ自由に参加いただけます。

※本リーフレットの制作には、信州のグリーン電力50kWhが使われています。

**S**tudy  
会員以外の方も参加できる  
「自由参加型の学習会」を月1回開催  
しています。お気軽にご参加ください。

2012年8月にスタートした「学習会」は、エネットまつもとの月1回の定例イベントとして定着しています。どなたでも無料で自由に参加できるアットホームな学習会です。ぜひ一度、見に来てみませんか。会場は「松本市市民活動サポートセンターの会議室」です。（開催時間は通常 19：00～20：30）

「持続可能な社会を考える」を基本テーマに、会員が聞きたい内容を重視したバラエティに富んだテーマで実施しています。下記は2014年9月から2015年5月の学習会テーマです。  
※詳しい内容はホームページのレポートをご覧ください。

●9月（2014）

1. 「白沢砂防ダムスリット化と乳川歩き」と「南木曾土石流災害を考える」
2. 「松本市自然エネルギー講座1年目の総集編（視察報告を含む）」



●10月  
「エネルギー問題の二面性を考える」

1. 「生物資源（バイオマス）を考える」
2. 「IPCCの報告書紹介、COPの状況等」



●11月

1. 「環境と自然エネルギーの目指す姿」
2. 「COP20の結果解説、IPCCの5次報告書紹介等」



●1月（2015）

「原発問題を考える（3.11から4年）」

●2月

1. 「省エネ節電特集」
2. 「IPCC第5次報告書から：冬の異常気象と地球温暖化」

●3月（特別学習会）

「松本市で再エネ事業を実際に進めるための仕組み作りに向けて」

※エネットまつもと会員、再生可能エネルギー関連事業者の方はもちろん、行政からは、松本市環境政策課・商工課・耕地林務課、松本市中央公民館、岡田地域づくりセンター、信州大学から経済学部の西山先生、人文学部の茅野先生、金融機関から八十二銀行、松本信金の皆さんにも参加いただき、総勢32名の大学学習会でした。



●4月

「松本市の次世代交通政策とまちづくり」

●5月

「地球温暖化問題（入門編）」

詳しくは、ホームページをご覧ください。

スマホでアクセス！

●イベントの情報はホームページの最新情報でご確認ください。

●過去のイベントの様子はホームページのレポートをご覧ください。

<http://www.enet-matsumoto.net> 自然エネルギーネットまつもと 検索

自然エネルギーネットまつもと

※エネットまつもと=自然エネルギーネットまつもとの通称

自然エネルギーネットまつもと通信

action

Think together and action 006

2015年5月31日発行 第6号



次世代に何を伝え、何を残せるのか。ひとつの体験が新しい可能性を育みます。

2014.10/27  
「木質バイオマス」の身近なエネルギー利用に関する公開授業 in 会田中学校より

「自然エネルギーネットまつもと」は、地域にあるものを活かす暮らしを志し、エネルギーの地産地消を目指しています。



## 2014.9-2015.4\_action ダイジェスト

2014.9/27・28

市民活動フェスタ・ぼくらの学校2014に出展



9月27日(土)・28日(日)、あがたの森文化会館で開かれた「市民活動フェスタ2014・ぼくらの学校」へ昨年に引き続き出展。環境系グループとともに一室を借りてブースを設営。「発電エアロバイク」、手回しのミニ発電機やうちわの風で発電するミニ風車など各種の発電体験グッズを展示しました。ブースには体験を楽しむ子どもたちの笑顔が終始溢れていました。大人の興味を引いたのは展示の「ロケットストーブ」。多くの皆さんから質問をいただきました。

### ロケットストーブ(コンロ)の普及活動

※WS=ワークショップの略

2014.10/25

ロケットストーブ作りWS in 原村



10月25日(土)、原村「ハケ岳中央農業実践大学校」にて開催。「ハケ岳まるごと収穫祭」に出展した自然エネルギー信州ネットSUWAのイベントのひとつとして参加したものです。

2014.11/1

ロケットストーブ作りWS in 茅野市



11月1日(土)、茅野市のアノニム・ギャラリーで開催。10/24~11/18 企画展示「美しさはあなたの目の中に」の中の企画イベントとして参加したものです。

2014.11/29

松本今井地区の「防災講習会」でロケットストーブの作り方と使い方を講習



松本市今井地区の「今井の地域福祉をささえる会」と松本市社会福祉協議会からの依頼で、11月29日(土)、今井地区福祉ひろばで行われた「防災講習会」でロケットストーブ作り講習を開催。

防災講習会ということで、作ったロケットストーブを使っての炊き出しも実施しました。

### 地方事務所環境課とのミーティング

エネットまつもと&長野県松本地方事務所環境課ミーティング

2012年につくられた「松本地域ビジョン」における具体的な施策の1つ「自然エネルギーの普及拡大」の推進と実現に向けて、地方事務所環境課とエネットまつもとが相互協力するためのミーティングです。2014年6月に第1回を開催しました。

2014.11/7 第4回ミーティング



参考になる取り組み、木質バイオマス関連の事例・事業紹介等を通して意見交換を行い、地方事務所環境課との具体的な協働イベントを練り上げるため、事業テーマを模索。

2014.12/18 第5回ミーティング



地方事務所への提案に向けて、エネットまつもとの会員から出た「自然エネルギーのマップづくり」、「啓発媒体の作成」、「自然エネルギーで防災」等の協働事業アイデアを検討、意見交換を行いました。

2015.2/6 第6回ミーティング



引き続き、平成27年度に地方事務所に提案するための協働事業の検討会。いろいろな意見交換の結果、「防災拠点への自然エネルギー導入イベント」を中心に他のアイデアを付加していく方向を取り決め、ミーティングは終了。

2015.3/20 第7回ミーティング



絞り込まれた協働事業案「防災拠点への自然エネルギー導入」の内容を検討。公民館事業に対し、主に冬の災害時の暖房や温かい食料の確保への自然エネルギーの利用法を実演やワークショップで提案する内容です。

#### ●事業提案内容の検討結果

1. 開催は休日、公民館事業に携わる皆さんを中心に、一般参加も可とする
2. 持ち帰って各公民館で実行できる情報を提供する
3. 炊き出し等の実演も実施する
4. 実施時期は10月下旬~11月上旬

### 信州大学での特別講座

信州大学・経済学部一般教養カリキュラム「資源経済学入門」の一部を担当

信州大学からの要請をうけ、経済学部一般教養カリキュラム「資源経済学入門」の15回ある講座の内、エネットまつもとが計3回の授業を担当しました。

2014.11/4 第1回目講座



第1回目の講座はエネットまつもと代表の平島安人さんが担当。11月4日(火)12:30~14:30、1年生を主体に、計29名の学生が受講しました。

前半、KP法(紙芝居プレゼンテーション法)を使い、現在の地球がかかえる資源・エネルギー・環境問題についてと自然エネルギーの基礎知識について講義。その後、「2030~2050年、将来の日本のエネルギー需要の変化」についてグループ討議と発表を行いました。

後半は国のエネルギー需要見通し、原発と日本の電力エネルギーの現状と課題、そして長野県における自然エネルギーの現状、エネルギーの地産地消、それを通じての地域振興について講義。講座の最後は、少し視点を変えたテーマ「深刻な日本の空き屋問題」についてのグループ討議。少人数のグループで膝をつき合わせ、円形にカットした段ボールに乗せた円卓を囲み、そこに直接意見を書き込む方法(えんたくんミーティング)で実施しました。

2014.12/2 第2回目講座



第2回目の講座は12月2日(火)、エネットまつもと運営委員で「溪流保護ネットワーク・砂防ダムを考える水と緑の会」の田口康夫さんが担当。

テーマは「溪流保護から見た砂防ダム問題と土砂災害」。川と人間、そして植物・生物の関係について砂防ダムを通して考えました。

講座は溪流環境と砂防・治山問題の実態についての講義を中心に行われました。砂防ダムを見たことがなく存在も初めて知ったという学生が大多数。「そもそも砂防ダムはどうして誕生したのか」「ものすごい数の砂防ダムが日本に存在すること」「砂防ダムによって溪流環境が壊されていること」「溪流環境の悪化が海岸線の浸食や沿岸漁業の不振をまねていること」など通常では得られない田口さんの熱のこもった講義内容全てが新鮮な情報だったはず。

2015.1/13 第3回目講座



第3回目の講座は1月13日(火)、松本市の「株式会社柳沢林業」取締役社長の原薫さんが担当。

テーマは「林業」。原さんが「なぜ自分が林業家になって、現在林業の会社の社長をやっているか」についてを中心に、数々の興味深い出会いと経験、身につけてきた林業のノウハウや技術、そしてたどりついた「人間は自然の一部、人は山を活かし、山に生かされてきた」という思い、『山基準』で考える営みについてたっぷり語ってもらいました。

山と森林と人の営みについて学び、自然と人間の関係について見つめ直すことができた講座でした。

### 中学校での公開授業

2014.10/27

「木質バイオマス」の身近なエネルギー利用に関する公開授業 in 会田中学校



平成26年度「四賀の未来につなぐ里山事業(平成26年度緑の募金交付金事業)」の一環として、四賀林研グループ主催、自然エネルギーネットまつもとと共催で松本市立会田中学校公開授業を10月27日(月)に開催。授業はエネットまつもとの木質バイオマスWG『MOKUBAの会』が中心となって進行了。

1時限目は座学。自然エネルギーの重要性、木質バイオマスの身近な利用方法について、マツクイ虫被害木とその利用等を講義。

2時限目は実演体験。発電薪ストーブ、発電なべ、ロケットストーブ、TLUD、ケリーケトル(松ぼっくり5個でお湯が沸く)、バイオライト(世界最小のバイオマス発電所)、木ろうそく、無煙炭化器等、座学を終えた全校生徒130人が屋外会場でいろいろな木質バイオマス器具を体験。ロケットストーブ、発電薪ストーブは男子生徒たちに人気でした。

授業の最後の実施した大迫力の立木伐採実演を含め、山の恵みを暮らしに取り入れるアイデアや考え方について少しでしたが触れてもらえた2時間でした。